

奈良フィルムアーカイブ上映会

— 映像で見る戦前の奈良 —



「育英バザーの実況」タイトル（左）とお化粧中の女学生（中）・田原地区の風景（2023年）（右）

日時 2023年 **10月15日**（日）13時30分～15時（13時開場）

場所 **奈良県立大学 中研修室**

（〒630-8258 奈良県奈良市船橋町10）

入場無料

（申込み不要）

【プログラム（予定）】※は国立映画アーカイブ所蔵作品



13:30～ 趣旨説明（奈良県立大学 水谷知生）

13:40～ 第1部：上映会（解説：水谷知生）

- ①戦前の奈良の風景（昭和初期 サイレント白黒 約15分）
 - ②第5回育英バザーの実況（1930年 サイレント白黒 約8分）
 - ③戦前の育英女学校（1930年か サイレント白黒 約5分）
 - ④奈良縣 田原村（1932年 サイレント白黒 約11分）※
 - ⑤正チャンの冒険（一部）（1920年代か サイレント白黒 約2分）
- （休憩）

14:30～ 第2部：トーク会（コーディネーター：水谷知生・松田 度）

15:00 終了（予定）

主催 奈良県立大学 奈良県の発展に資する研究プロジェクト「地域映像収集による地域資源再評価プロジェクト」
奈良フィルムアーカイブプロジェクト【奈良FAPJ】（代表：水谷知生 事務局：松田度 matsudawataru@gmail.com）
協力 (株)IMAGICA エンタテインメントメディアサービス・学校法人奈良育英学園・神戸映画資料館・国立映画アーカイブ・奈良市横田町自治会

【奈良フィルムアーカイブ上映会について】

奈良県を撮影した古いフィルム（アーカイブ）を調べている奈良県立大学の研究プロジェクト（令和5年度）の成果報告として、戦前の奈良の風景などを映した古いフィルムの上映会をおこないます（解説あり）。上映後、トーク会（参加者どうしの座談会）もあります。ふるってご参加下さい。

上映作品の紹介（作品は追加・変更されることもあります）

① 戦前の奈良の風景	サイレント白黒（約15分） 神戸映画資料館 所蔵作品
神戸映画資料館が所蔵している昭和初期の35mm,16mmフィルムから、誰もが知っている奈良の風景（若草山・興福寺・猿沢池・飛火野・春日大社など）や、失われた奈良町界隈の町並みをダイジェストで紹介します。	
② 第5回 育英バザーの実況 ③ 戦前の育英女学校	サイレント白黒（約11分）② サイレント白黒（約4分）③ 学校法人奈良育英学園 所蔵作品
奈良市法蓮町にある奈良育英学園旧蔵の35mmフィルムの映像です（現在フィルムは国立映画アーカイブが保管）。育英学園は、育英女学校として大正5年（1916）に藤井高蔵（西吉野村白銀出身）・ショウ夫妻によって設立。1923（大正12）年に現在地に奈良育英高等女学校を設立。奈良女子高等裁縫学校（育英女学校を継承）が併存していました。フィルム②には、昭和5年（1930）6月7・8日、両校でおこなわれた同窓会合同バザーのようすが映されています。大阪朝日新聞に事前の開催記事が掲載され、人々が集まる行事として賑わっていた状況が映されています。フィルム③には、当時の女学校の校舎や、教員、全校生徒、体操する女学生たちの姿が映されています。いずれも戦前の奈良の女学校の雰囲気伝える貴重な映像です。	
④ 奈良縣 田原村	サイレント白黒（約11分） 国立映画アーカイブ 所蔵作品
昭和7年（1932）、奈良県添上郡田原村（現・奈良市田原地区）の山里での生活のようすを撮影した、朝鮮総督府（1910年から1945年まで朝鮮統治のために設けられた日本の機関）作成の35mmフィルムの映像です。全2巻のうち現存するのは2巻のみです。当時の田原村は、青年団や主婦会の活動が活発で、団体表彰や優良村表彰を度々受けていました。朝鮮総督府の「活動写真班」は、日本国内の優良村を紹介する映画製作のため、昭和7年（1932）7月に来村し、村内の風景や人々を撮影しています。田原地区にはその時の台本（解説資料）も残っています。この映画は昭和7年8月に田原村に寄贈され公開されましたが、田原地区にフィルムは残っていません。今回上映するフィルムは、戦後ロシアの国立映画保存機関、ゴスフィルムフォンドに保管されていたもので、現在国立映画アーカイブが所蔵しています。今回、約90年ぶりの映像がふるさとに帰ってきました。	
⑤ 正チャンの冒険 シノミヤコ	サイレント白黒（約2分） 奈良市横田町自治会 所蔵作品
『正チャンの冒険』（作・織田小星、画・樺島勝一）は、100年前の大正12年（1923）1月、『日刊アサヒグラフ』で連載が始まった4コママンガの元祖。ぼんぼりのある帽子（正チャン帽）をかぶった主人公の「正チャン」と、相棒のリスが、さまざまな冒険の旅をする物語です。大正12年9月1日の関東大震災でアサヒグラフは休刊。10月から『東京朝日新聞』で連載が再開され、大正14年（1925）10月まで続きました。あわせて、単行本（全7巻）や関連作品の刊行、舞台上演、映画上映と人気を博しました。今回紹介する作品は、奈良市横田町自治会に残されていた35mmフィルムの映像です。これは、大正13年（1924）の1月17日から31日まで、計12回にわたり『東京朝日新聞』に連載された「お伽 正チャンの冒険 シノミヤコ（死の都）」を映画化（アニメ化）した「正チャンの冒険」の断片とみられます。製作年・上映年は不明ですが、およそ100年前に作られた初期のアニメ作品です。	